

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2025年 第10週（3月3日～3月9日）

今週のコメント

～感染性胃腸炎～ 手洗いの励行、排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「感染性胃腸炎 過去10年間の同時期で最も高い」

第10週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は3,259例であり、前週比17.0%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ12.84、1.76、1.36、0.23、0.20である。

感染性胃腸炎の報告数は前週比20%増の2,478例で、大阪市南部19.29、南河内17.56、北河内14.24、大阪市西部13.80、中河内12.89であった。

RSウイルス感染症は4%減の339例で、南河内3.38、大阪市北部2.92、北河内2.20である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は44%増の263例で、大阪市南部2.59、堺市2.53、南河内1.75であった。

咽頭結膜熱は20%減の39例で、南河内0.69、大阪市北部0.38、中河内0.37である。

インフルエンザは1%減の524例で、定点あたり報告数は1.74である。南河内3.92、北河内2.39、豊能1.89、大阪市北部1.74、中河内1.63であった。6ブロックで前週より増加していた。

新型コロナウイルス感染症は13%減の754例で、定点あたり報告数は2.50である。南河内3.42、北河内3.12、泉州2.94、中河内2.87、堺市2.86であった。

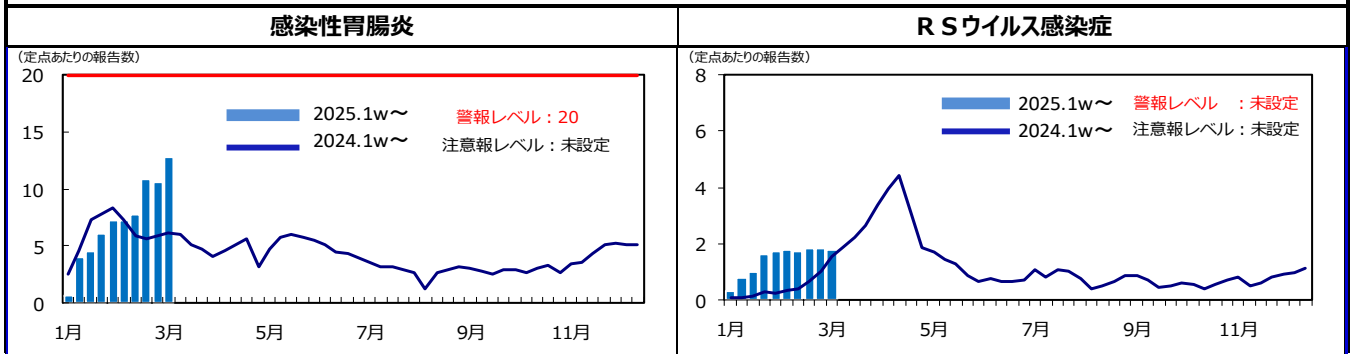


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2025年 第10週3月3日～3月9日）

| 第10週の順位 | 第9週の順位 | 感染症 | 2025年 第10週の 定点あたり 報告数 | 前週比 増減 | 2024年 第10週の 定点あたり 報告数 | 2025年第10週の 年齢別 患者発生数 最大割合 |
|---------|--------|-------------------------------|-----------------------|--------|-----------------------|---------------------------|
| 1 | 1 | 感染性胃腸炎 | 12.84 | 20%増 | 6.20 | 10-14歳_12% |
| 2 | 2 | RSウイルス感染症 | 1.76 | 4%減 | 1.55 | 1歳未満_37% |
| 3 | 3 | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 1.36 | 44%増 | 3.58 | 10-14歳_16% |
| 4 | 6 | 突発性発しん | 0.23 | 22%増 | 0.15 | 1歳_64% |
| 5 | 4 | 咽頭結膜熱 | 0.20 | 20%減 | 0.41 | 1歳2歳_28% |
| 参考 | | インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患) | 1.74 | 1%減 | 7.94 | 10-14歳_27% |
| 参考 | | 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患) | 2.50 | 13%減 | 4.34 | 80歳以上_14% |

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症患者の発生状況について(大阪府)』の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

第10週のコメント

～百日咳～ 生後2か月からの予防接種が重要

| 全数把握感染症 | |
|--|--|
| 百日咳 | |
| <p>百日咳は、百日咳菌 (<i>Bordetella pertussis</i>) による急性の気道感染症である。潜伏期は通常5～10日で、かぜ様症状で始まり（カタル期）、百日咳特有の咳が出始める（痙咳期）。新生児や乳児早期では、肺炎、脳症を合併することがある。マクロライド系抗菌薬が有効であるが、近年、薬剤耐性菌も報告されている。</p> <p>百日咳の予防には、ワクチン接種が有効であり、乳幼児期に計4回接種されている。2018年1月1日に小児科定点把握感染症から全数把握感染症に変更され、成人の報告数の把握が進んでいる。</p> <p>百日咳とは（国立感染症研究所） 百日咳（大阪府感染症情報センター）</p> | <div style="text-align: center;"> <h3>年別累積報告数（大阪府）</h3> </div> |

表2. 大阪府全数報告数（2025年 第10週3月3日～3月9日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
 （報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。）

| 3 類感染症 | 疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略 | 報告数 | 豊能 | 三島 | 北河内 | 中河内 | 南河内 | 堺市 | 泉州 | 大阪市 | 府内累積報告数 |
|------------------|---|-----|----|----|-----|-----|-----|----|----|-----|---------|
| | | | | | | | | | | | |
| 3 類感染症 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 1 | 1 | | | | | | | | 13 |
| | 腸チフス | 1 | | | | | | | | 1 | 1 |
| 4 類感染症 | E 型肝炎 | 1 | 1 | | | | | | | | 2 |
| | デング熱 | 1 | | | | | | | 1 | | 3 |
| | レジオネラ症（肺炎型） | 2 | 1 | | 1 | | | | | | 19 |
| 5 類感染症 | ウイルス性肝炎 | 1 | | | | 1 | | | | | 3 |
| | カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 | 2 | | 1 | | | 1 | | | | 22 |
| | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 1 | | | | 1 | | | | | 32 |
| | 侵襲性肺炎球菌感染症 | 9 | 2 | 1 | 1 | | | 2 | 1 | 2 | 94 |
| | 梅毒 | 7 | | | | | | | | 7 | 303 |
| | 百日咳 | 39 | 3 | 2 | 8 | 3 | 1 | | 17 | 5 | 250 |
| 結核 (2025年1月分) | 結核 新登録患者数：90名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 33名) (府内累積報告数 90名、内 肺・喀痰塗抹陽性 33名) | | | | | | | | | | |

(2025年3月11日 集計分)